

令和8年度

# フレッシュ研修Ⅱの手引

－医療的ケア（自立活動）担当－

徳島県教育委員会

# 目 次

I 教職員に求められる資質・能力	1
II フレッシュ研修Ⅱ（医療的ケア（自立活動）担当）の概要	2
III 全体研修	3
IV 校内研修	5
V フレッシュ研修Ⅱの進め方	8
VI とくしま教員育成指標	10

## フレッシュ研修Ⅱ 様式集

（徳島県立総合教育センター〔以下、「総合教育センター」という。〕Webサイトからダウンロードできます。）

### 〔校内研修〕

【様式1】 課題研究報告書様式	11
【様式2】 課題研究報告書様式	12
【様式3】 同意書（協力依頼）	15

### 〔共通研修〕

【様式1】 企業等研修教育実践報告書	16
【様式2】 欠席届	17
【様式3】 欠席課題報告書	18
【様式4】 欠席課題送付鑑	19

## I 教職員に求められる資質・能力

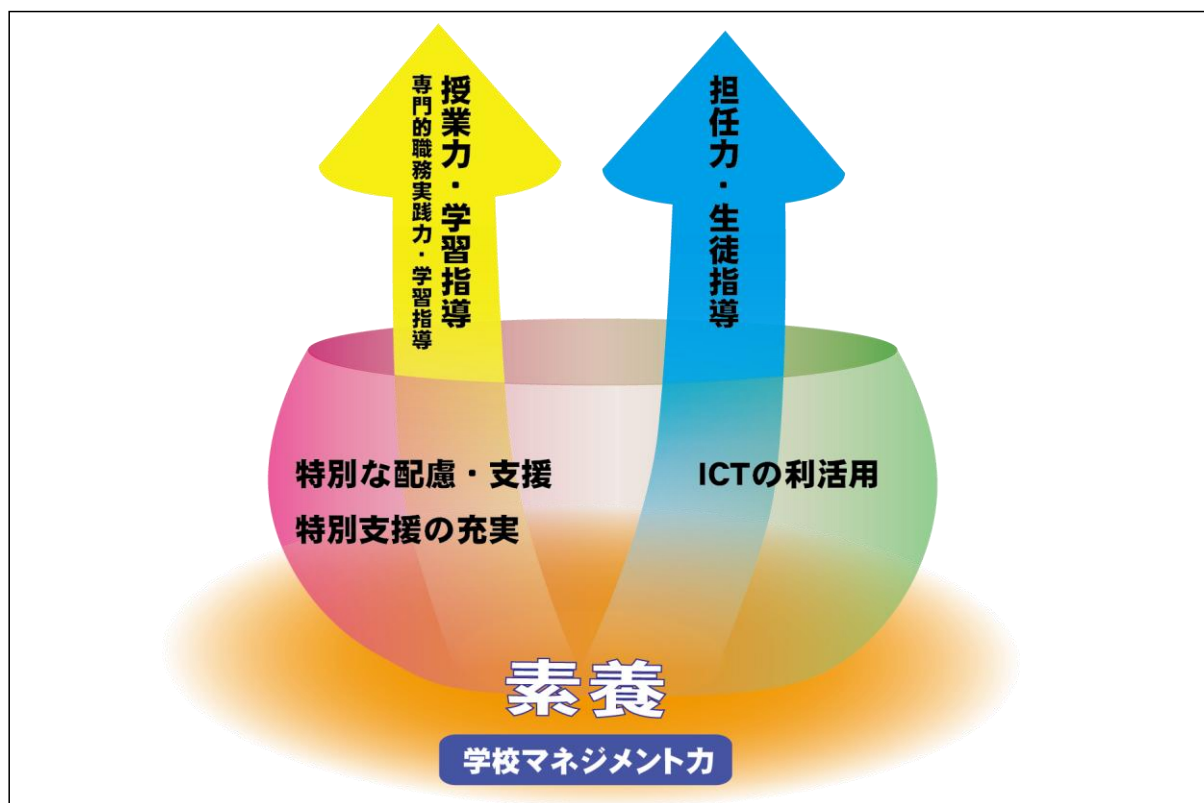
『徳島教育大綱』（令和6年3月策定）では、個性と国際性に富み、大きな夢や高い目標を持って、自らの可能性を高め、主体的に未来を切り拓くために果敢に挑戦する力を育む「徳島ならではの教育により、本県の宝である「人財」の育成を目指しています。

### 徳島教育大綱の基本方針

#### 個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成

徳島教育大綱の行動計画として位置付けられた『徳島県教育振興計画（第4期）』（令和5年度から4年間）では、大綱で明確にされた本県教育の基本方針に基づき、その重点項目を推進するために様々な施策を展開しています。こうした取組が実を結ぶためには、学校教育の直接の担い手である教職員の果たす役割は極めて重要となります。

『とくしま教員育成指標』（令和7年3月一部改訂）では、教師に共通的に求められる資質・能力を、「素養」、「授業力又は専門的職務実践力・学習指導」、「担任力・生徒指導」、「特別な配慮・支援、特別支援の充実」、「ICTの利活用」の5つの柱で再整理しています。



上の図は、「素養」に支えられた「授業力又は専門的職務実践力・学習指導」と「担任力・生徒指導」に関わる資質を発揮する際に、「特別な配慮・支援、特別支援の充実」と「ICTの利活用」が大きな影響を与えること、言い換えれば、「特別な配慮・支援、特別支援の充実」と「ICTの利活用」に関わる知識やスキルを向上させることにより、「授業力又は専門的職務実践力・学習指導」と「担任力・生徒指導」が児童生徒一人一人により応じたものとなるイメージを表しています。

採用後2年目の教員を対象とする「フレッシュ研修Ⅱ」では、「医療的ケアを教育活動の一環としてとらえ、その専門家としての確かな力量」を高めるために、自らの業務をもう一度見つめ直し、「担任力・生徒指導」をはじめとする実践的指導力の更なる向上に努めてほしいと考えています。

## Ⅱ フレッシュ研修Ⅱ（医療的ケア（自立活動）担当）の概要

### 1 研修の目的

採用後2年目の医療的ケア（自立活動）担当教諭に対して、幅広い知見を得ることを通して、「担任力・生徒指導」をはじめとする専門的職務実践力の向上を図る。

### 2 受講対象者及び受講者の決定

原則として、採用後2年目の医療的ケア（自立活動）担当の教諭を対象とする。事情により、当該教諭の研修を次年度等とすることについては、受講予定者、校長の意見を参考に徳島県教育委員会が判断する。国立及び県立学校の場合は、校長から直接徳島県教育委員会に所定の手続きをするものとする。

### 3 研修の内容等

#### （1） 内容

① 徳島県教育委員会は、フレッシュ研修Ⅱ研修受講者について、「とくしま教員成指標」を踏まえて体系的にフレッシュ研修Ⅱを実施する。

② とくしま教員育成指標との関わり

フレッシュ研修Ⅱの研修の柱は次のとおりである。

- ・第1回全体研修：○担任力・生徒指導 「E 目標の明確化・実態把握力」
- ・第2回全体研修：○素養 「B 識見・学び続ける力」  
○担任力・生徒指導 「A 幼児児童生徒理解・指導力」  
「E 目標の明確化・実態把握力」
- ・企業等研修：○素養 「G センターの機能の推進力」  
「B 識見・学び続ける力」  
「C 社会性・コミュニケーション力」
- 担任力・生徒指導 「D 未来ビジョン育成力」
- ・スキルアップ研修：○担任力・生徒指導 「C 課題解決力」  
「F チームによる組織力」

#### （2） 実施日数（合計 医療的ケア（自立活動）担当教諭 6.0日）

##### 【共通研修】

- 全体研修（第1回：各学校 オンライン研修 第2回 総合教育センター） 1.5日
- 企業等研修（指定の各企業・施設等） 1.0日

※小・中・高・中等・特・医療的ケア（自立活動）担当教諭

##### 【校内研修】

- スキルアップ研修（所属校での課題解決への取組） 2.5日
  - ・スキルアップ研修①（所属校にて対面研修） 【1.0日】
  - ・スキルアップ研修②③④（所属校にてオンライン研修） 【1.5日】

### Ⅲ 全体研修

#### 1 全体研修の概要と日数

3.5日間の全体研修は、次の(1)～(2)からなる。

##### (1) 全体研修(1.5日間)

###### ① 研修の申込

5月12日(火)までに「全国教員研修プラットフォーム：Plant(プラント)」

(以下、Plantという)から申込、管理職に承認依頼をする。(研修講座一覧p31を参照)フレッシュ研修Ⅱでは、個別の校外研修への申込は不要。

###### ② 第1回全体研修の受講(場所：各学校 オンラインによる研修)【0.5日】

本研修の趣旨や方法を理解し、1年間の研修の見通しを立てる。

・医療的ケア担当部会 ……………5月18日(月) 15:15～16:50

(研修内容)

○オリエンテーション

○職種別研修

###### ③ 第2回全体研修の受講(場所：総合教育センター)【1.0日】

本研修を振り返るとともに、自身のキャリアをデザインし、ジャンプアップ研修(採用後5年目に実施)に向けて3年目以降の取組を設定する。また、フレッシュ研修の閉講式を行う。

・全受講者 …………… 1月15日(金)

(研修内容)

○講義・演習「ポジティブ行動支援で授業づくり」

○講義・演習「企業等研修の活用報告」又は「ICTを活用した授業実践報告」

○演習・協議「教職キャリアデザイン」

○閉講式

1月15日(金)の第2回全体研修については、改めて研修案内の文書は発送しない。実施要項が、にPlantに掲載されるので、受講者から管理職に実施要項を提示し、承諾を得た上で、出席する。なお、実施要項の内容が変更になる場合があるため、研修の実施日の数日前に、必ず最新の実施要項を確認する。

また、今後決定する企業等研修については、学校を通じて各班長又は係に連絡するため、班員で連絡を取り合い、日程、場所等について、必ず管理職に報告した上で出席する。

## (2) 企業等研修（2日間）

徳島県内の企業等における職業体験を通して、教員とは異なる企業等の仕事についての理解を深め、キャリア教育をはじめとする教育実践に生かせるよう、指導力の向上を図る。

### ① 班編成

原則としてフレッシュ研修Ⅱの班とする。ただし、特別班を編成することがある。

### ② 研修の実施に向けて

ア 企業等研修係、打合せ係を決定する。企業等研修係は、企業等研修に関する連絡・調整を行う。打合せ係は、各企業等と研修の詳細について打合せを行う。

イ 班員は、「企業等研修 研修先一覧（第1回全体研修で配付）」の実施日時、研修内容等を参考に、各班で希望研修先を相談するとともに、各所属校の管理職へ学校行事等の予定を確認する。

ウ 企業等研修係は、希望の研修先や日程を第8希望まで決定して、フレッシュ研修Ⅱ担当に Google フォームで報告する。（提出期限：5月27日（水）まで）

エ 6月中に、決定した企業等名についての案内文書を、送付する。フレッシュ研修Ⅱ担当から企業等研修係に学校を通じて送付する。企業等研修係は、他の班員の個人アドレスに、その案内文書を送付する。その際、「開封確認メールを要求」と設定する等により、各班員等がメールを受信したことを必ず確認すること。日程や参加者の変更があった場合も同様とする。班員はその内容を管理職に報告する。

オ 7月中に、フレッシュ研修Ⅱ担当から、企業等研修係に学校を通じて、企業ごとの実施要項等を送付する。企業等研修係は、他の班員の個人アドレスに、実施要項等を送付する。

打合せ係は、研修先の企業等研修担当者に連絡して、研修の詳細について打合せを行い、確認したことを班内で共有する。（企業等への連絡期限：実施要項受け取り後1週間以内）

### ③ 研修の実施

ア 各企業等の研修心得を遵守し、誠意と熱意をもって臨む。

イ 集合時刻や研修場所への移動等については、各企業等の研修担当者と打合せをする。

### ④ 課題内容

所属校の児童生徒に対して、企業等研修で学んだことを生かして教育実践をする。また、実践内容について【様式2】「企業等研修教育実践報告書」にまとめて提出する。

### ⑤ 様式・提出先等

【様式2】「企業等研修教育実践報告書」（PDF 不可）にまとめ、フレッシュ研修Ⅱ担当にメールで提出する。また、1月15日（金）の第2回全体研修に他の受講者が閲覧できるデータ又は印刷した資料を持参する。

○ファイル名及びメールの件名：「受講番号・企業等研修・学校名・氏名」

（例） 小1・企業等研修報告書・徳島小・徳島太郎

（提出期限：令和9年1月15日（金）まで）

(3) 提出書類 ※各種提出書類の提出期限を厳守する。

提出期限	提出書類・報告	提出方法・提出先
令和8年 5月27日(水)	・企業等研修希望の報告 ※企業等研修係が代表して報告	Google フォーム フレッシュ研修Ⅱ担当
令和9年 1月15日(金)	・【様式1】「企業等研修教育実践報告書」 (PDF不可) ※教諭のみが提出 また、第2回全体研修に他の受講者が閲覧できるデータ又は印刷した資料を持参	メール提出及び当日持参 フレッシュ研修Ⅱ担当

○提出先：徳島県立総合教育センター教職員研修課フレッシュ研修Ⅱ担当  
電 話 088-672-5100  
メールアドレス fresh\_2@mt.tokushima-ec.ed.jp

※ファイル名及びメールの件名については、p 4で指定したとおりとする。

また、メール作成時に、「開封確認メールを要求」と設定する等により、送信先がメールを受信できたことを確認する。

## IV 校内研修

### 1 スキルアップ研修 (2.5 日間)

研修日程は次のとおり

月 日	時間	内 容
6月中旬頃	1.0 日	スキルアップ研修① (各学校にて対面)
7月29日(水)	0.5 日	【オンライン】 スキルアップ研修②
10月23日(金)	0.5 日	【オンライン】 スキルアップ研修③
1月20日(水)	0.5 日	【オンライン】 スキルアップ研修④

※スキルアップ研修については、案内通知文書及び実施要項を発送する

## 2 課題研究

医療的ケア（自立活動）担当教諭が、特別支援学校における医療的ケアについての課題を設定し、指導を受けながら主体的に課題に取り組むものとする。

### ○ 課題研究報告書の作成について

#### (1) 章立ての例

(例)

タイトル

-サブタイトル-

※サブタイトルは必ずしも必要ではない。

#### 1 課題設定

自分の課題や学校の課題を明確にし、「課題の内容」、「設定した理由」等、について記入する。

#### 2 課題解決への取組

設定した自己課題を中心に取組の内容を記入する。

#### 3 指導・助言について

(1) 専門家からの指導・助言内容について記入する。

(2) 指導助言を受けての見直し内容についても記入する。

#### 4 取組の経過

指導・助言の期間ごとにどのような取組を行ったのかを記入する。取組の経過をわかりやすくするために写真等を挿入してもよい。

#### 5 取組の結果

幼児児童生徒の変容、自分の変容、学校の変容として、回数、時間、量など客観的な数値で評価できる場合は、必ず数値の変化も記入する。また、取組の過程で、家庭での変容や教職員の変容があれば併せて記入する。

#### 6 まとめと今後の課題

今回の事例研究によって明らかになったこと(結果)をもとに、意見や考えを述べる。

#### (2) 様式

- ・原稿は、「Word」または「パワーポイント」を使用する。
- ・「Word」を使用する場合はA4判左とじ横書き2枚、文字数は40文字×40行を目安とする。
- ・「パワーポイント」を使用する場合は、スライド16枚、文字の大きさは24ポイント以上を推奨する。

**(3) 課題研究発表**

スキルアップ研修④にて、課題研究の成果を発表し、成果を共有する。

期日:令和9年1月20日(水)

会場:各学校(オンライン)

**(4) 課題の提出**

① 提出方法 電子メール

② 提出期限 令和9年1月29日(金)

・スキルアップ研修④での専門家からの指導や助言を反映すること。

・提出に当たっては、学校長等の指導を受けること。

③ 提出先 特別支援教育課 [tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp)

**(5) 成果普及**

・実践成果は県教育委員会主催の研修等で発表する場合がある。

・実践成果は徳島県立総合教育センターのホームページへ掲載するものとする。

※上記2項目について、幼児児童生徒の実践に取り組む場合は、保護者の同意(様式3同意書)が得られたものに限る。

## V フレッシュ研修Ⅱの進め方

### 1 研修のスケジュール

月	校内研修 医療的ケア（自立活動）担当教諭：2.5日	共通研修 医療的ケア（自立活動）担当教諭：3.5日
4	フレッシュ研修Ⅱの案内が届く。 Plantにて、受講申込を行い、承認を受ける	
5	課題の設定（5月～6月） ○自分の課題を明確にする。 （5～6月）[1.0日] ・スキルアップ研修①：6月中旬	○第1回全体研修 （各学校：オンライン研修） オリエンテーションと班の打合せ [0.5日] 5月18日（月）
6	課題解決への取組（6月～1月） 校内研修や校外研修の機会を積極的に活用し、設定した自己課題の解決に取り組む。	
7	○課題解決に取り組むことができているか検証する。（7月～1月） [②0.5日 ③0.5日] ・スキルアップ研修②：7月29日（水） ・スキルアップ研修③：10月23日（金） 途中経過を報告し、指導助言を受け、改善を図る。	○企業等研修（各企業等）[2.0日] 7月～8月（夏季休業期間中）
8		
9		
10		
11		
12		
1	1年間の研修の成果を分析（1月～2月）	
2	○課題解決に向けた取組を報告 [0.5日] スキルアップ研修④：1月20日（水） 課題研究の成果を報告	○第2回全体研修（総合教育センター） 教職キャリアデザイン、閉講式 [1.0日] 1月15日（金）
3	○課題研究の成果を校内で報告・活用する。	
備考		※企業等研修の実施日は、フレッシュ研修Ⅱ担当が調整して決定する。

## 2 欠席（遅刻・早退）をする場合

やむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が、フレッシュ研修Ⅱ担当（特別支援教育課）に連絡する。特別支援教育課長により欠席が承諾された場合、管理職は、総合教育センターWebサイト又はPlantのフレッシュ研修Ⅱのページより、【様式5】「欠席届」をダウンロードし、作成後速やかにメールに添付して提出する。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにする。

※企業等研修のみ、総合教育センター教職員研修課のフレッシュ研修Ⅱ担当者に連絡する。

【送付先】特別支援教育課 [tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp)

※企業等研修：総合教育センター教職員研修課 [kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp](mailto:kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp)

※総合教育センター教職員研修課に送付する場合は、学習系端末（外部メール）から送付してください。

次の二次元コードからも、それぞれのWebページにジャンプします。

			
徳島教育大綱・徳島県教育振興計画（第4期）	「とくしま教員育成指標」	Plant（全国教員研修プラットフォーム）	フレッシュ研修Ⅱ様式

キャリアステージ		採用時に本県が求める力			＜第1ステージ＞			＜第2ステージ＞			＜第3ステージ＞											
資質・能力		養成期			基盤形成期			伸長・充実期			深化・発展期			熟達期								
A 使命感・倫理観	B 職業見学・学び続ける力	C 社会性・コミュニケーション力	D 学校組織マネジメント力	E 連携・協働力	F 危機管理能力	〇 教育者の愛情と熱意をもって教育活動に臨むようしている。	〇 「とくしま」を愛し、徳島教育大綱に示されている「人財」の育成を目指し、使命感と情熱をもって、たくましく、粘り強く教育活動に取り組んでいる。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。	〇 使命感と教職への誇り、たくましい精神力と柔軟性をもって、教育活動を推進している。						
						〇 社会人としての常識やマナー、道徳性(情報モラルを含む。)を身に付け、法令遵守の精神に基づいた行動をしている。	〇 教育公務員としての自覚をもち、法令やセキュリティポリシー等を遵守するとともに、誠実かつ公正に職務を遂行し、家庭や地域の信頼を得ている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	〇 家庭や地域の信頼に応え、法令やセキュリティポリシー等の遵守を周囲の教職員に働きかけ、組織の志気を高めている。	
						〇 学び続ける意欲をもち、他者の意見を謙虚に受け止めている。	〇 知見を広げ、物事を的確に判断するとともに、主体的に研修に取り組んでいる。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。	〇 豊富な経験に裏打ちされた見識を有し、課題意識と探究心をもって自己研鑽に努めるとともに、範を示している。
						〇 コミュニケーションスキルを身に付け、他者と積極的に関わり、助け合っている。	〇 教職員、家庭や地域と幅広く関わり、自分の考えを適切に伝えながら、助け合っている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	〇 組織のコミュニケーションを活性化するとともに、管理職や学年・職種等の異なる教職員とのパイプ役となり、支え合う環境づくりをしている。	
						〇 自分を大切に、人権感覚を身に付け、互いに尊重し合う人間関係を築いている。	〇 幼児児童生徒一人一人の抱えている悩みや願いを把握し、差別やいじめを許さない集団をつくるとともに、教育的愛情をもち、人権を尊重し、行動している。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	〇 学校や地域の人権に関する課題の解決に向けて、関係機関等とともに取り組み、人権尊重の精神が高まるよう家庭や地域に広めている。	

# フレッシュ研修Ⅱ 様式集

## 校内研修

## 課題研究報告書

### 1 幼児児童生徒の実態について

- (1) 所属学部：
- (2) 学 年：
- (3) 氏 名：

### 2 指導目標について

：

### 3 指導・助言について

- (1) スキルアップ研修で受けた指導・助言の内容

：

- (2) 指導・助言を受けての見直し内容

：

### 4 指導の経過

：

### 5 指導の結果

：

### 6 まとめと今後の課題

：

(様式2)

課題研究報告書

○○○○○○○

徳島県立○○支援学校 □□ □□

1

児童・生徒の実態

2

保護者の願い

教員の願い

3

アドバイザーからの助言

4

助言を受けての見直し

6

指導の成果

8

保護者・家庭との連携

5

指導の手続き

7

今後の課題

9

## 特別支援学校 学校看護師の「実践研究」への御協力について

徳島県教育委員会では、特別支援学校の専門性向上を図るために、教育分野・医療分野等の専門家と協働し、学校看護師（医療的ケア（自立活動）担当）が、指導・助言を受けながら実践を進めていく「スキルアップ研修」に取り組んでいます。

この度、その取組の1つとして、医療的ケアを必要とする幼児児童生徒への個別の教育支援計画や個別の指導計画に基づく医療的立場からのアプローチを目的とした「実践研究」を行っています。

また、スキルアップ研修の成果については、研修等で他校の教員へ報告するなど広く周知することで、徳島県全体の学校看護師のさらなる専門性向上につなげたいと考えております。

なお、大切なお子様への医療的ケアの充実に向けたスキルアップ研修を、効果的でより良い実践とするためには、保護者の方の御理解と御協力が必要です。

つきましては、以下の内容を御確認いただき、必要事項を御記入の上、学級担任まで御提出いただけますようお願いいたします。

徳島県教育委員会 特別支援教育課

.....切り取り線.....

### 特別支援学校 学校看護師の「実践研究」

#### 同意書

1. お子様にとってより良い医療的ケアの取組を示す必要性が生じた場合に、専門家がお子様へ医療的ケアに関する指導・助言を行うことについて  
 同意します                       同意しません
  
2. 取組場면을振り返りながら専門家から指導・助言を受けたり、実践成果を確認したりするため、お子様の医療的ケアの場면을動画等で記録することについて  
 同意します                       同意しません
  
3. 同じような医療的ケアの課題が生じているお子様への取組の充実が図られるよう、個人が特定できないようにした記録動画等を、教職員や看護師等の研修目的で使用することについて  
 同意します                       同意しません
  
4. お子様の個人情報保護した形で作成した成果報告を、徳島県立総合教育センターのホームページへ掲載することについて  
 同意します                       同意しません

令和      年      月      日

保護者のお名前 \_\_\_\_\_

お子様のお名前 \_\_\_\_\_

# 共通研修

【様式1】

## 企業等研修教育実践報告書

研 修 日	令和 年 月 日 ・ 月 日		
研修企業名			
受講番号			
学 校 名		氏 名	
課題：所属校の児童生徒に対して、企業等研修で学んだことを生かして、どのような教育実践を しましたか。具体的に書いてください。			
1  いつ（〇月ごろ 等）			
2  どのような形で（学活、ホームルーム、総合的な学習の時間、職業体験学習、朝の学活 等）			
3  児童生徒にどのような実践をしたか			
4  児童生徒の反応はどうだったか			
5  今後の教育活動にどのように生かしていくか			

※研修実施企業等に送付することがあるため、児童生徒の個人情報につながるような表現は避けてください。

※1月15日(金)までにフレッシュ研修Ⅱ担当にPlant（PDF不可）から提出してください。また、第2回全体研修に他の受講者が閲覧できるデータまたは印刷した資料を持参してください。

(様式2)

# 令和8年度フレッシュ研修Ⅱ（医療的ケア（自立活動）担当） 欠席届

令和 年 月 日

徳島県教育委員会特別支援教育課長 殿

学校名

校長氏名

## 欠 席 届

※ 次のとおり、本校職員が  
・基本研修 ・職務研修 ・推薦研修  
・特別研修 ・希望研修  
・大学・研究機関等研修  
の研修講座を

欠席しますのでお届けします。

1 職・氏名

2 研修講座名 令和8年度フレッシュ研修Ⅱ  
( ) 研修

3 欠席する期間 令和 年 月 日 曜日から  
令和 年 月 日 曜日まで ( ) 日間

4 欠席の理由

① やむを得ず欠席（遅刻・早退）する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が、フレッシュ研修Ⅱ担当（特別支援教育課）に連絡してください。特別支援教育課長により欠席が承諾された場合、管理職は、総合教育センターWebサイト又はPlantのフレッシュ研修Ⅱのページより、【様式2】「欠席届」をダウンロードし、作成後速やかにメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。

※ 企業等研修のみ、総合教育センター教職員研修課のフレッシュ研修Ⅱ担当者に連絡してください。

【送付先】特別支援教育課 [tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp](mailto:tokubetsushienkyouiku@mt.tokushima-ec.ed.jp)

※ 企業等研修：総合教育センター教職員研修課

[kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp](mailto:kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp)

※ 総合教育センター教職員研修課に送付する場合は、学習系パソコン（外部メール）から送付してください。

② メールの件名は、【欠席届】フレッシュ研修Ⅱとしてください。

【様式3】フレッシュ研修Ⅱ

( ) の欠席課題報告書

研修日	令和 年 月 日 ( )	受講番号	
学校名		氏 名	
(課題)			

【様式4】フレッシュ研修Ⅱ

令和 年 月 日  
第 号

徳島県教育委員会特別支援教育課長 殿

学校長

フレッシュ研修Ⅱ（ ）の欠席課題について(送付)

このことについて、別添のとおりお送りします。